

インストールを始める前に

本マニュアルについて

このマニュアルでは、主に Gaia10 ネットワーク版の新規インストール方法についてご説明します。

インストール中に必要になる Windows の操作方法、インストールについてのよくあるお問合せと回答、トラブル発生時の対処方法などにつきましては、製品 DVD の「Disc1 システム」内の「手順書」フォルダの中に「インストール FAQ」が別途用意されていますので、そちらをご参照下さい。

動作環境について

Gaia10 の動作には、以下の環境が必要です。

	サーバー	クライアント
OS	日本語 Windows Server 2019/2016/2012 日本語 Windows 10/8.1 (Pro, Enterprise)	日本語 Windows 10/8.1
CPU/メモリ	お使いの OS が推奨する環境以上	
ディスプレイ 解像度	1280×800 ドット以上	
ディスプレイ 表示色	High Color 以上	
ハードディスク	インストール時の空容量：4GB 以上 また契約県数ごとに 3.6GB 必要 例：47 都道府県を契約した場合 3.6GB * 47 ≒ 170GB (BeingCabinet と同居した場合は追加容量 が必要です)	インストール時の空容量：4GB 以上
DVDドライブ	DVD-ROM/CD-ROM を読み込み可能なドライブ	
プリンタ	お使いの OS で動作可能なプリンタ	
ネットワーク環境	LAN または VPN などによる常時接続可能であることが必要です。 TCP/IP、HTTP、HTTPS での通信が可能であることが必要です。	

- ※ オペレーティングシステムのシステム要件が上記動作環境に書かれている以上のハードウェアの性能が必要な場合は、お客様が使用されているオペレーティングシステムのシステム要件を満たしている必要があります。
- ※ インストール後は、データを保存するための空き容量を十分確保して下さい。
- ※ 全国の地域データをインストールした場合、1年度につき約 33GB 必要です。
お客様の運用にあわせハードディスク容量をご準備下さい。
- ※ BeingCabinet へは圧縮したデータが保存されます。圧縮するとファイルサイズは約 10 分の 1 になりますので、Gaia10 で 170GB を想定する場合は、BeingCabinet 保存用に+17GB 以上の空き容量が必要となります。
- ※ キャビネットプロテクトをご利用の場合は、BeingCabinet サーバーのインストールされているコンピュータに、プロテクトユニット接続用として、USB ポート×1が必要です。
- ※ 遠隔地同士の通信では通常操作において速度的な支障をきたす場合があります。
必要に応じてサーバーの分散をご検討下さい。
- ※ 詳しい動作環境については、ビーイングのホームページをご参照下さい。
- ※ ウイルス対策ソフトを使用している場合は、Gaia10 用にポートの解除等の作業が必要です。
詳しくは、「インストール FAQ 4.インストール時の注意 ■ポート番号について」をご参照下さい。

■ 注意事項

Gaia10をインストールしたサーバーは、コンピュータ名の変更を行わないで下さい。

Gaia10起動時に接続するデータベースの判別や、BeingCabinet工事書庫サーバーの接続先判別に障害が発生します。

※Gaia10にて使用するパソコン(サーバー、クライアント、BeingCabinet工事書庫サーバーのすべて)のコンピュータ名は、必ず「半角英数字」をご使用下さい。

BeingCabinet について

- 『BeingCabinet』を使用して設計書や単価、歩掛データを共有することができます。Gaia10 ネットワーク版には、「BeingCabinet のシステム」が必要となります。BeingCabinet → Gaia10 サーバー → Gaia10 クライアントの順にインストールを行い、Gaia10 インストール前に BeingCabinet を利用可能な状態にして下さい。BeingCabinet のインストールについては別途、「BeingCabinet インストールマニュアル」をご参照下さい。
- インターネットプロテクトをご利用の場合は、インターネットプロテクトに対応したバージョンの BeingCabinet をインストールして下さい。

インターネットプロテクトのインストールについて

- インターネットに接続していないと、インストールできません。
- コンピュータの日時を正しく設定して下さい。

プロテクトユニットについて

- キャビネットプロテクトでご購入の場合、「USB プロテクトユニット」が付属しています。BeingCabinet が動作しているコンピュータにプロテクトユニットを接続しておく必要があります。

Windows のログインユーザーについて

インストール作業を行うには、Windows に Administrator 権限を持ったユーザーでログインする必要があります。

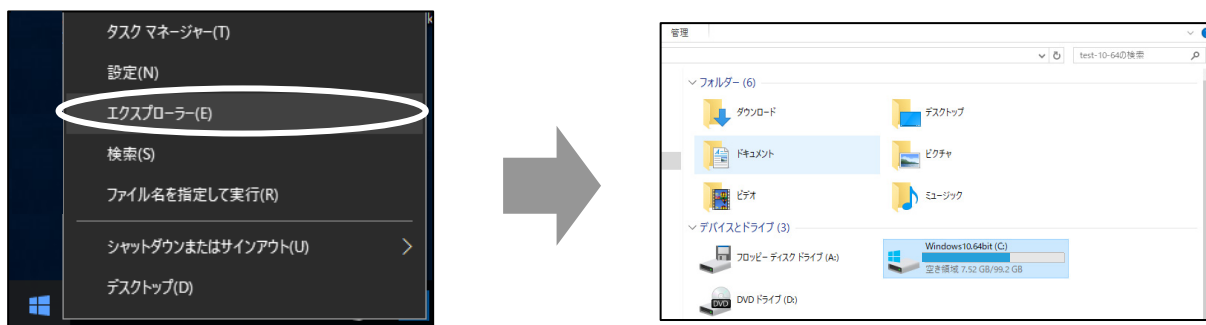
ログイン中のユーザーの権限を確認する方法については、「インストール FAQ 1.Windows のログオンユーザーを確認する」をご参照下さい。

ハードディスクの空き容量を確認する

インストールしたいドライブの空き容量を事前にご確認下さい。

標準設定では、システム/データともシステムドライブにインストールされますが、それぞれ任意のドライブに変更することもできます。

空き容量は、画面左下の[Windows スタートメニュー]を右クリックから[エクスプローラ]を開き、確認することができます。



【Windows10】の場合

インストールを始める

Gaia10のインストールでは、下記のプログラムがインストールされます。

「Disc1 システム」

- 1) プロテクトドライバ
- 2) SQL Anywhere
- 3) Gaia10システム(サーバー・クライアント)
- 4) Gaia10データ、各種オプション

「Disc2 地域データ」

- 5) 追加購入データ

(必須) 1)～4)は「Disc1 システム」のDVDからインストールします。

(任意) 5)の追加購入いただいた各種オプションや単価データ等は、システムのインストール終了後に任意で追加インストールすることができます。

※インターネットプロテクトの場合も、プロテクトドライバをインストールします。

インストールを始める



起動しているアプリケーションをすべて終了します。

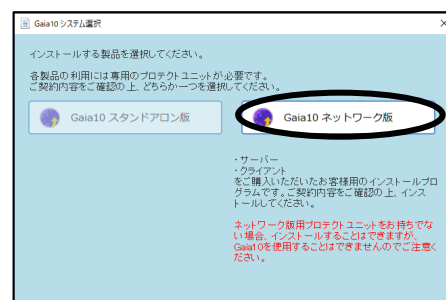
DVD-ROM ドライブにGaia10の「Disc1 システム」のDVDをセットします。

※クライアントをインストールする場合は、サーバー用のコンピュータにあらかじめGaia10サーバーがインストールされている必要があります。

「Gaia10 インストールディスク選択メニュー」画面が表示されますので、「Gaia10 システム」を選択します。



「Gaia10 システム選択」画面が表示されますので、「Gaia10 ネットワーク版」を選択します。



「積算システム インストール」画面が表示されます。
[サーバー]または[クライアント]をクリックすると、インストールを開始します。
以降、画面表示に従い先にお進み下さい。



インストール手順は「Disc1 システム」の DVD に入っています。

「DVDドライブ:¥ネットワーク版¥手順書¥ Gaia10_ネットワーク版インストール手順.pdf」をダブルクリックして下さい。

＜インストール画面が自動で表示されない場合＞

Windowsのスタートボタンを右クリックから[エクスプローラ]をクリックします。

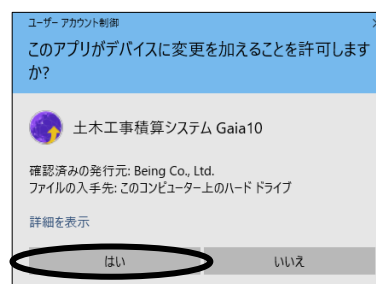
表示された画面でDVDドライブを選択し、フォルダ「ネットワーク版」内の「Launch10」をクリックして起動します。



【Windows10】の場合

インストールを開始すると、「ユーザーアカウント制御」の画面が表示されます。

「はい」をクリックし、インストールを続けて下さい。



プロテクトドライバのインストール

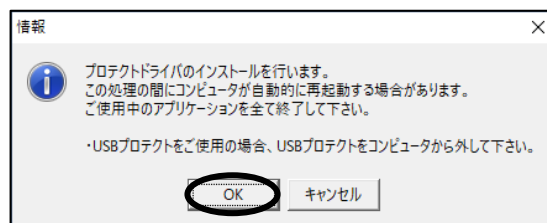
※弊社他商品をご利用の場合など、他システムでプロテクトを使用している場合、既にインストール済みの場合があります。その場合、プロテクトドライバのインストール画面は表示されません。

インストールを開始すると右図のようなメッセージが表示されます。

『USBプロテクト』を接続済みの場合、いったん取り外してから[OK]をクリックします。

※BeingCabinetをインストールしたコンピュータに、プロテクトを挿している場合、プロテクトドライバのインストール後、Gaia10サーバー、Gaia10クライアントにプロテクトの接続を行う必要はありません。

プロテクトドライバのインストール時に、コンピュータが自動的に再起動することがあります。



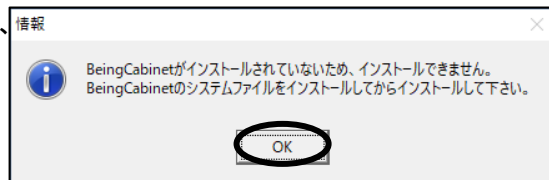
SQL Anywhereのインストール

※弊社他商品をご利用の場合など、既にインストール済みの場合があります。その場合、SQL Anywhereのインストール画面は表示されません。

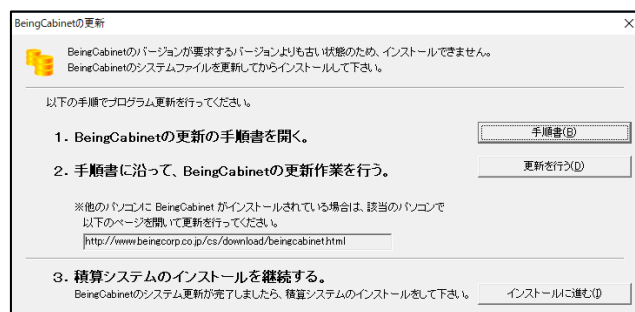
以降、画面表示に従いSQL Anywhereのインストールを行います。

注意点

◆BeingCabinetがGaia10サーバーにインストールされていない場合は、先に進むことはできません。BeingCabinetをインストールしてから、再度Gaia10ネットワーク版をインストールして下さい。



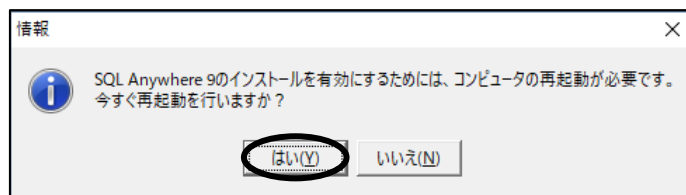
◆BeingCabinetのバージョンが古い場合BeingCabinetの更新画面が表示されます。手順に沿ってBeingCabinetのシステムファイルを更新後、Gaia10ネットワーク版のインストールを継続して下さい。



コンピュータの再起動

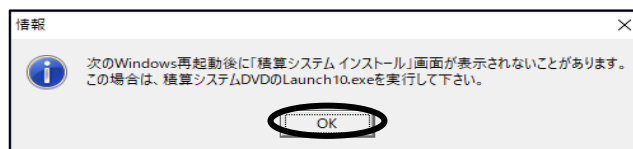
SQL Anywhereのインストール終了後、コンピュータが自動的に再起動、または、右図の画面が表示されます。

[はい]をクリックし、再起動を行います。



再起動が必要ない場合は、Gaia10のインストール画面が表示されます。そのまま次のインストールへお進み下さい。

Windows 再起動後に「積算システムインストール」画面が表示されない場合は、「Disc1 システム」のDVDのLaunch10.exeを実行して下さい。



※「Gaia10 インストールディスク選択メニュー」画面が表示されない場合、本マニュアル「[インストール画面が自動で表示されない場合 \(P.4\)](#)」をご参照下さい。

Gaia10 システムのインストール

続いて、積算システムのインストールを行います。

コンピュータの再起動後、「積算システム インストール」の画面が表示されます。

サーバーの場合は、[サーバー]をクライアントの場合は、[クライアント]をクリックすると、セットアップ画面が表示されますので、[次へ]をクリックしてインストールを開始します。

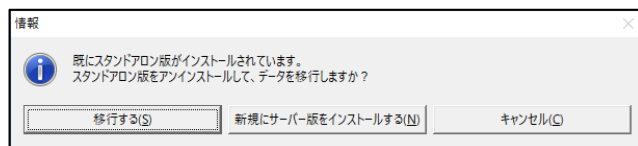


※再起動後、インストール画面が表示されない場合は、本マニュアル「[インストール画面が自動で表示されない場合 \(P. 4\)](#)」をご参照下さい。

注意点

- ◆インストール中に、使用許諾約定への同意を求める画面が表示されます。使用許諾約定書をよくお読み下さい。
- ◆使用許諾約定をお読みいただいた後、「同意する」を選択し、[次へ]ボタンのクリックでインストールを続行します。(※使用許諾約定に同意しない場合は、これ以上進めることができません。)使用許諾約定書は、「Disc1 システム」のDVD内に「License.txt」というファイル名で保存されています。
- ◆インストール先のドライブ、フォルダを変更できます。
 - ・システムとデータのインストール先を別々に指定できます。
 - ・Gaia10で使用する容量とは別に、Windowsのインストールドライブに50MBの空き容量が必要です。
 - ・フォルダを変更する場合は、必ずGaia10専用のフォルダを作成して下さい。
 - ・システムとデータのインストール先フォルダは別にして下さい。同じフォルダ、親子関係のフォルダを指定しないで下さい。
- ◆キャビネットプロテクトの場合
キャビネットプロテクトの場合、Gaia10サーバーをインストールするには、BeingCabinetのインストールとBeingCabinetをインストールしたパソコンにネットワーク版のキャビネットプロテクトの装着が必要です。キャビネットプロテクトは1個のみ装着して下さい。

◆Gaia10スタンドアロン版がインストールされている場合、スタンドアロン版データをGaia10サーバーまたはクライアントに移行するかの確認画面が表示されます。
移行時にスタンドアロン版をアンインストールしますので、ご注意ください。



[移行する]をクリックすると、
(サーバーをインストールしている場合)工事、単価、歩掛などのデータをGaia10サーバーに移行します。
(クライアントをインストールしている場合)工事データ、印刷フォーム、Excel帳票のみをGaia10クライアントに移行します。

※データの移行には制限事項があります。「インストールFAQ 7.Gaia10スタンドアロン版からのデータ移行の制限事項」をご参照下さい。

[新規にサーバー版をインストールする](クライアントの場合は、[新規にクライアント版をインストールする])をクリックすると、新規にデータをインストールします。

[キャンセル]をクリックすると、インストールを中止します。

プロテクト形態の選択 (サーバーの場合)

積算システムのファイルコピーが終了すると、「プロテクト形態の選択」画面が表示されます。

ご利用になるプロテクト形態を選択します。

- ・インターネットプロテクト
- ・キャビネットプロテクト

[次へ]をクリックします。



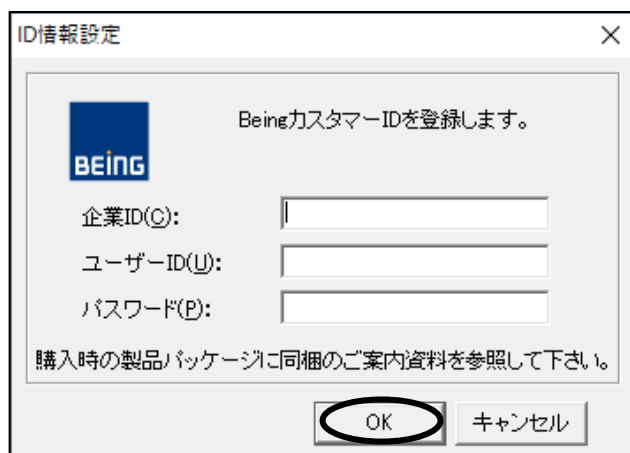
ID情報設定 (サーバーの場合)

(インターネットプロテクト以外の場合は、表示されません)

「ID情報設定」画面が表示されます。

製品パッケージに同梱されているご案内資料をご確認頂き、「企業ID」「ユーザーID」「パスワード」を入力します。

[OK]をクリックします。



コンピュータの登録(サーバーの場合)

(インターネットプロテクト以外の場合は、表示されません)

「コンピュータの登録」画面が表示されます。

ニックネームを入力します。

[OK]をクリックします。

コンピュータの登録

コンピュータを識別するためにニックネームを登録して下さい。
既に登録してある場合は、上書き更新します。

ニックネーム(例:積算1号機、花子のパソコン)
積算1号機 (15文字以内)

ライセンス情報

企業ID:
ユーザーID:
利用者名:
利用者番号:
契約終了年月:

[お客様契約情報](#) で、パスワードの変更やバージョンアップ情報のメール配信登録ができます。

OK キャンセル

BeingCabinetサーバー、Gaia10サーバーの設定

サーバーの場合「BeingCabinetサーバーの設定」画面が、
クライアントの場合「BeingCabinet、Gaia10サーバーの設定」画面が表示されます。

<サーバーの場合>

「BeingCabinet書庫サーバー名、または、IPアドレス」、「ポート番号」を入力します。

BeingCabinet サーバーの設定

■BeingCabinet書庫サーバーの設定を行います。

BeingCabinet書庫サーバーを使用する(1)

BeingCabinet書庫サーバー名、または、IPアドレス(2) ポート番号(3)
 80

OK キャンセル

<クライアントの場合>

「BeingCabinet書庫サーバー名、または、IPアドレス」、「ポート番号」を入力します。

◆Gaia10サーバーとBeingCabinet書庫サーバーが同じパソコンの場合
「BeingCabinet書庫サーバーと同じ」にチェックを付けます。

BeingCabinet, Gaia10 サーバーの設定

■BeingCabinet書庫サーバーの設定を行います。

BeingCabinet書庫サーバーを使用する(1)

BeingCabinet書庫サーバー名、または、IPアドレス(2) ポート番号(3)
 80

■Gaia10サーバーの設定を行います。

BeingCabinet書庫サーバーと同じ(4)

Gaia10サーバー名、または、IPアドレス(5) ポート番号(6)
 80

OK キャンセル

◆Gaia10サーバーとBeingCabinet書庫サーバーが違うパソコンの場合
サーバーインストール時に控えていただいた(P.10)
「Gaia10サーバー名、またはIPアドレス」「ポート番号」を入力します。

注意点

◆Gaia10ネットワーク版の場合、BeingCabinetへの接続が必須です。
チェックを外すことはできません。

BeingCabinet, Gaia10 サーバーの設定

■BeingCabinet書庫サーバーの設定を行います。

BeingCabinet書庫サーバーを使用する(1)

BeingCabinet書庫サーバー名、または、IPアドレス(2) ポート番号(3)
 80

■Gaia10サーバーの設定を行います。

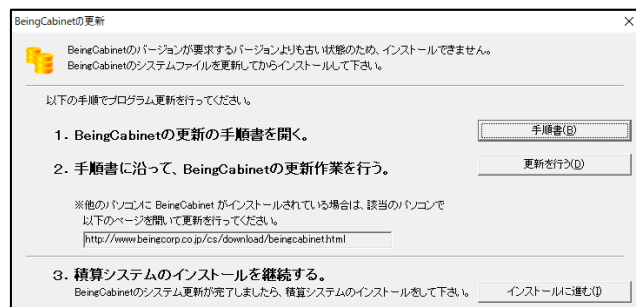
BeingCabinet書庫サーバーと同じ(4)

Gaia10サーバー名、または、IPアドレス(5) ポート番号(6)
 80

OK キャンセル

◆「エラー12 Calling Sproinitialize」と表示される場合には、「インストールFAQ 9.プロテクトドライバをインストールする」をご参照のうえ、古いバージョンのプロテクトドライバを削除してから、プロテクトドライバのインストールを行って下さい。その後、Gaia10のインストールを行って下さい。

◆BeingCabinetが、Gaia10対応のCabinetでない場合、右図のメッセージが表示されます。Gaia10のインストールを中断し、BeingCabinetの更新を行って下さい。



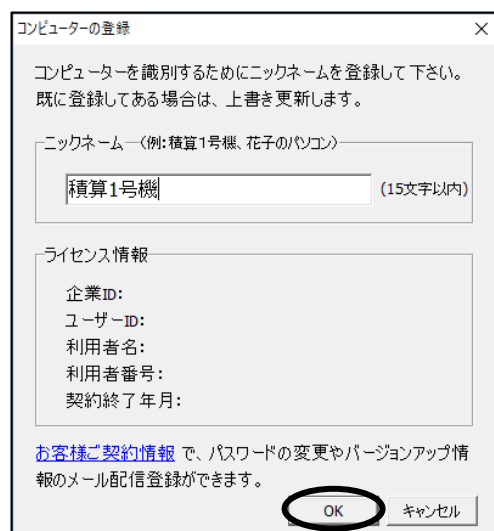
コンピュータの登録 (クライアントの場合)

(インターネットプロテクト以外の場合は、表示されません)

「コンピュータの登録」画面が表示されます。

ニックネームを入力します。

[OK]をクリックします。



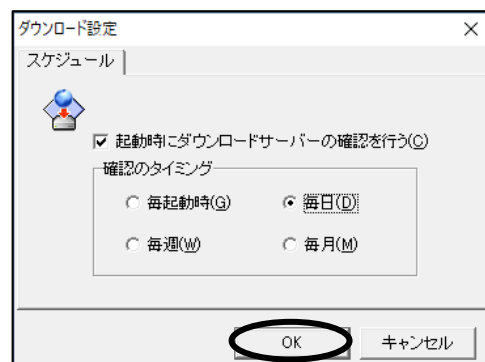
初期設定

続いて、サーバーの場合、標準データの更新が自動的に開始されます。

データインストール終了後、インターネットプロテクト以外の場合、インターネット機能を使用する／しないを設定する画面が表示されます。

Gaia10では、インターネット経由で最新のプログラム、データをダウンロードすることができます。また、サポートセンターに問合せを行う際、積算システムの情報をメールで送信することができます。ぜひ、インターネット機能をご利用下さい。

Gaia10インターネット機能を使用する場合、右図の「ダウンロード設定」画面が表示され、ダウンロードの確認を行うスケジュールを設定できます。スケジュールは、インストール後に設定することもできます。



ローカルプロテクト・キャビネットプロテクトの場合、
ライセンスキー入力画面が表示されます。
同梱されているライセンスキーを入力して、
[OK]をクリックします。

Gaia10 インターネット機能を使用する場合、
[サーバーよりライセンスキーを取得]をクリックして、
Being カスタマーID を使って、サーバーからライセンスキーを
取得することができます。

ライセンスキーを入力して下さい

製品パッケージに同梱されているライセンスキーを入力して下さい。
インターネットを利用できる環境の場合、「サーバーよりライセンスキーを取得」を
クリックして、サーバーからライセンスキーを取得することができます。

利用者名:
株式会社ビーイング

利用者番号:
00000000000

ライセンスキー:

サーバーよりライセンスキーを取得 OK キャンセル

Gaia10サーバーのインストールを行った場合、
右図の画面が表示されます。
以下にサーバー名(コンピュータ名)と、ポート番号を
控えて頂き、[OK]をクリックします。
クライアントのインストール時に必要です

情報

BeingCabinetサーバーのサーバー名は「test-10-64」、サービスポート番号は「80」
です。
BeingCabinetに接続するアプリケーションの設定時に使用するため、これら情報を
控えておいてください。

OK

サーバー名(コンピュータ名)

ポート番号

インストール終了

以上でGaia10のインストールは終了です。

◆「Gaia10 ご利用時のご注意」について

インストールの最期に、Gaia10 に関する説明、注意事項が表示されます。システムをご利用いただく上で重要な事項が書かれていますので、必ずお読みください。

◆インストール終了後に、BeingCabinet 設定、インターネット機能設定を変更することができます。

BeingCabinet のコンピュータを変更した場合などにご利用下さい。

Windows のスタートボタンから、[すべてのプログラム]→[Gaia10]→[ツール]→[Gaia10 初期設定]
にて、行って下さい。

※インターネットプロテクトの場合は、インターネットに接続していないと初期設定を完了できません。

Gaia10がすでにインストールされている場合

Gaia10はダウンロードにて最新のプログラムおよびデータに更新できますが、DVDからもシステム更新を行うことができます。

サーバー・クライアントのシステム更新については、
「インストールFAQ 3-1.Gaia10がすでにインストールされている場合
■サーバー・クライアントのシステム更新」をご参照下さい。

追加でご購入いただいた各種オプションを
追加する場合もこちらをご参照下さい。



データ更新ツールによるデータ更新の詳細は、
「インストールFAQ 3-1.Gaia10がすでにインストール
されている場合 ■データ更新」をご参照下さい。

追加でご購入いただいた設計書入出力オプション、単価データ等を
追加する場合もこちらをご参照下さい。



ダウンロードにて最新のプログラムを更新する場合は、「インストールFAQ 11.ダウンロード手順」をご参照下さい。

参考

よくあるエラー

何らかの原因で予期せぬエラーが起きた場合、エラーメッセージが表示されることがあります。
詳しくは、「インストールFAQ 12.よくあるエラー」をご参照下さい。

旧システムからのデータ移行

土木工事積算システムGaia9・GaiaRXで使用していた工事や単価データなどを、Gaia10で使用できるよう各種データの移行を行います。

データ移行については、「インストールFAQ 8.Gaia10にてGaia9またはGaiaRXのデータを使用する」をご参照下さい。

商標について

- ・Gaia、Gaia10、Gaia9、GaiaRX、BeingCabinetは、株式会社ビーイングの登録商標または商標です。
- ・Windows、Windows Server、Windows8.1、Windows10は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- ・Sybase、SQL Anywhere、Adaptive Server、iAnywhereは、米国法人Sybase, Inc.の登録商標です。